

第1回学校評議員会 会議録

日 時 令和5年7月11日（火）14:00～15:00

場 所 男鹿工業高校 校長室

参加者 学校評議員（4名）

加賀谷 正人 様、石川 敦 様、菊地 修 様、畠山 千夏子 様

（欠席者） 清水 隆成 様

男鹿工業高校（3名）

筒井 勝（校長）、柴田 修（教頭）、宇佐美 晋哉（総務主任）

（欠席者） 木村 哲也（事務長）

司 会 男鹿工業高校 柴田 修 教頭

資 料	1	令和5年度	第1回学校評議員会	1部
	2	令和5年度	あきた型学校評価	1部
	3	令和5年度	学校要覧	1部

1 開会

2 学校評議員の委嘱

3 校長あいさつ

校長より学校評議員の快諾、平素からの本校教育活動への理解・協力への感謝の意を述べる。また、本校の教育課題への対応についてそれぞれの立場から指導・助言を頂戴したい旨を伝えた。

4 評議員及び職員の紹介

（出席者から自己紹介）

5 学校経営方針説明（校長）

・教育目標

『豊かな人間性と健やかな身体を育み、工業に関する基礎的な知識・技能・態度を習得し、地域社会に貢献できる人間の育成に努める』としている。

・教育方針

「授業改善」「学力向上」「キャリア教育の充実」を軸に教職員が様々な場面でその手立てを意図的に講じていくことで、「総合的な人間力」の育成を図りたい。

・重点目標

部活動と生徒会活動の推進、ものづくり教育を充実させ、地域の要望や生徒の実情に応じた魅力的な学校づくりを推進したい。

- ・男鹿地区高校統合計画

当初案が変更となり、ワンキャンパスで検討されている。

6 学校状況（教頭）

- ・教職員構成

教職員平均年齢男子54.2歳、女子45.2歳、トータル平均年齢52.1歳。教諭平均年齢53.4歳。

- ・在籍生徒数

1年生は3年生と同等の比率。全県的に2年生は出生数が多かった年。

- ・出身中学校

全体的な変化はなし。土崎1年生2人減、男鹿東18人増。

- ・退学者・転学者

昨年度1年生退学者3名。内訳、学校生活・学業不適応2名、進路未定。進路変更1名、県内就職。転学1名。2年生2名、進路変更、県内就職希望。

- ・問題行動

昨年度無し。

- ・進路状況

就職68%、進学32%。県内就職71%、例年同様値。4年制大学進学10名、内1名国公立大学。試験種別は総合型選抜。

就職

企業説明会、応募前職場見学、面接模擬練習会などを通じた丁寧な指導で希望者全員内定。業種別では、製造業が多く、次いで建設業の順。本校は他校とより建設業への就職者多数。県建設課主催の出前説明会、業界団体との交流会など、専門性をアピールできていることが要因。

進学

工業高校の特色を生かした課題研究などより国公立大学へ合格。課題は第1希望内定・合格率が90%弱。

- ・特別活動

8ページまで昨年度の結果掲載。

9ページが今年度全県総体の結果。空手部女子団体・空手部女子個人1名、少林寺拳法がインターハイ出場。各部とも生徒はよく頑張っていたとの顧問の感想多数。

7 あきた型学校評価システム（総務主任）

- ・各分掌・学科・学年部で⑤「目標達成のための方策」まで入力済み。

- ・中間評価が10月、年度末評価が2月、県教育委員会への報告が3月。

・中間評価は⑥「具体的な取組状況」、⑦「達成状況」を各分掌・学科・学年部でフィードバック、その後⑧「自己評価」、翌年、評議員に⑨「学校関係者評価と意見」の

評価、意見を依頼。

・上記を元に⑩「自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策」策定。次年度への橋渡しとする。

8 質疑応答・意見交換・提案

〈質問1〉PTA活動の現状について(代行業など)

〈回答〉・首都圏では割当て制・輪番制より代行業・ボランティア制が主流のようである。

・PTA評議員会でも議題となり、今後アンケート等で意見を募る予定である。

〈質問2〉部活動の現状について(部員数など)

〈回答〉・全県的にも部員数は減少傾向である。

〈質問3〉教育現場の現状についてI(生徒・保護者の価値観の変容など)

〈回答〉教員側も多様な価値観に対応を求められる時代である。

〈質問4〉生成AIの取り扱いについて

〈回答〉・生徒の端末での使用はできないが、個人所有のPCでは利用可能である。

〈質問5〉教育現場の現状についてII(教員の高齢化など)

〈回答〉定年退職年齢の引き上げに伴う再任用制や教員志望者の減少などが要因と考えられる。

〈質問6〉求人募集の現状について(洋上風力関連など)

〈回答〉先般求人が解禁されたが、まだ今後の推移を注視している状況である。

9 校長謝辞

10 閉会